

# 日本酒の醸造と輸出

株式会社 車多酒造

徳田耕二

# 1. 北陸の発酵文化

## 2. 弊社の酒造り

## 3. 日本酒の現状

## 4. 日本酒の海外展開

## 5. 海外展開を進める上での課題

# 北陸の発酵食品

- 日本酒
- 味噌
- 醤油
- 酢
- 納豆
- 漬物
- 麴漬け
- 糠漬け
- なれ寿し
- 魚醤



# 北陸の酒造りの特徴(1)

県	酒蔵数	全国の日本酒 に対する 製造比率(%)	全国の特定名 称酒に対する 製造比率(%)	各県内での 特定名称酒の 比率(%)
新潟	89	8.4	15.1	67.7
富山	17	1.1	2.0	67.2
石川	29	1.4	3.1	82.1
福井	29	0.7	1.3	74.7
兵庫	62	28.6	16.7	22.1
京都	39	16.2	6.7	15.8
全国	1225	100.0	100.0	37.8

国税庁資料から(平成26酒造年度製造分)

特定名称酒:純米酒・吟醸酒・本醸造酒などの高付加価値酒

## 北陸の酒造りの特徴(2)

県	酒造好適米 使用比率(%)	精米歩合(平均) (%)
新潟	45.8	58.1
富山	82.1	57.3
石川	61.7	62.0
福井	78.3	55.3
兵庫	11.6	72.2
京都	9.9	71.7
全国	27.7	65.4

# 酒蔵の立地要件

- 有能な技術集団の存在
  - 岩手（南部杜氏）
  - 新潟（越後杜氏）
  - 石川（能登杜氏）
  - 兵庫（丹波、但馬杜氏）
- 米どころ 五百万石（新潟県で昭和31年に育種）
- 水
- 気候

# 全国各地の日本酒

全国にある酒蔵

沖縄県にも日本酒の酒蔵がある？

## 酒質の均一化から個性化への動き

もともとは各地の地酒で個性的  
酒造技術の向上とともに品質の均質化が進む  
コンクール(全国新酒鑑評会)の弊害  
どの酒蔵も山田錦の入手に力を入れる  
約半数の府県で栽培される山田錦



酒米・栽培方法・自社栽培田・製法(山廃・生酏)に  
こだわる蔵が増えてきた → 酒蔵としての個性化

1. 北陸の発酵文化

2. 弊社の酒造り

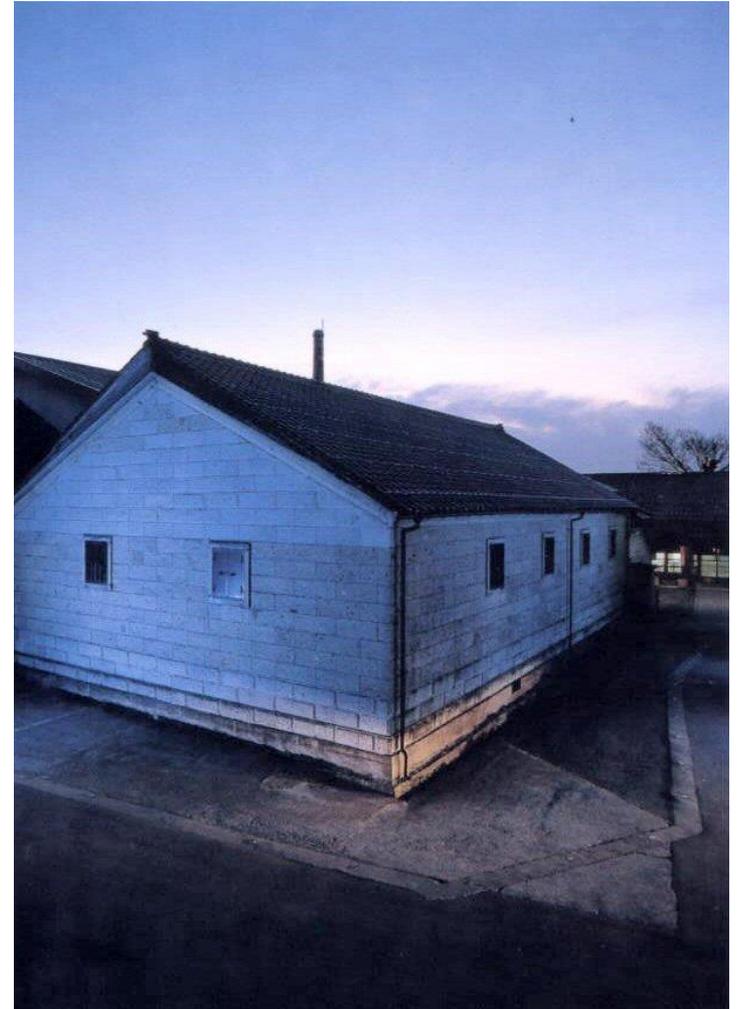
3. 日本酒の現状

4. 日本酒の海外展開

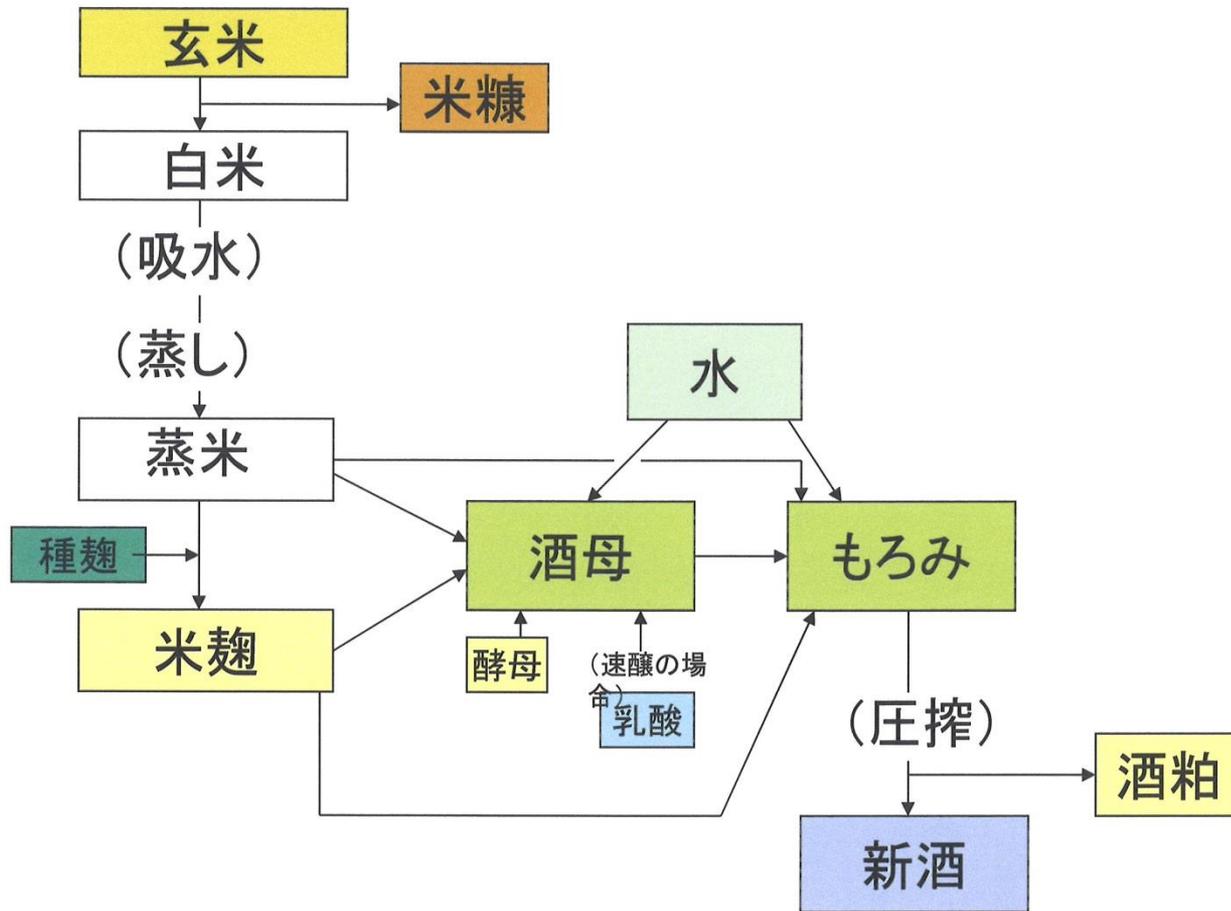
5. 海外展開を進める上での課題

# 弊社の酒造り

- 株式会社 車多酒造
- 創業1823年(文政6年)
- 銘柄 天狗舞・五凜



# 日本酒の製造フロー



# 原料米と精米

## 酒造好適米

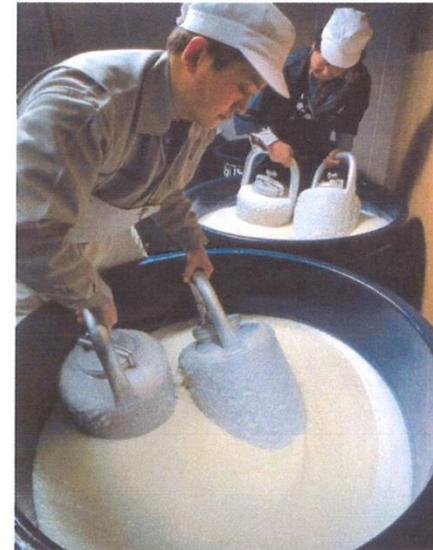
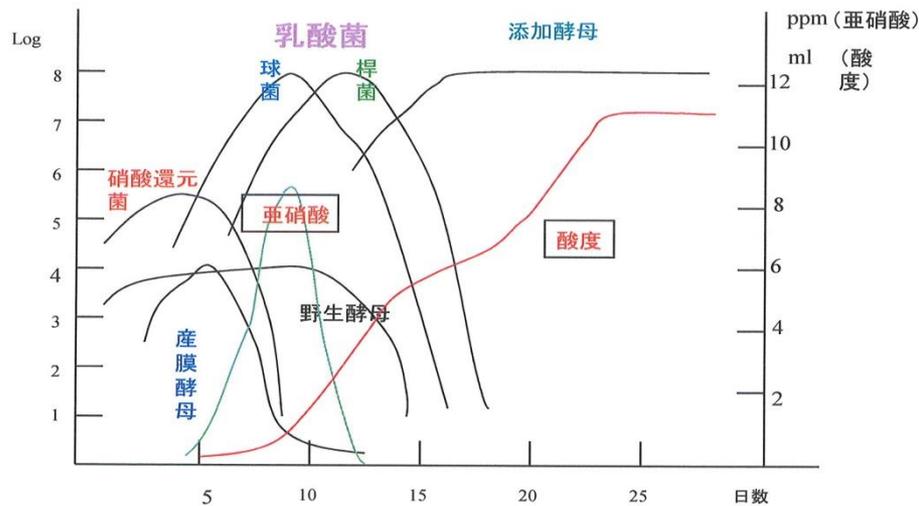
- 五百万石(石川・福井・富山)
- 山田錦(兵庫)
- 夢錦(兵庫)
- 雄町(岡山)

## 一般米

- ゆめみずほ(石川)



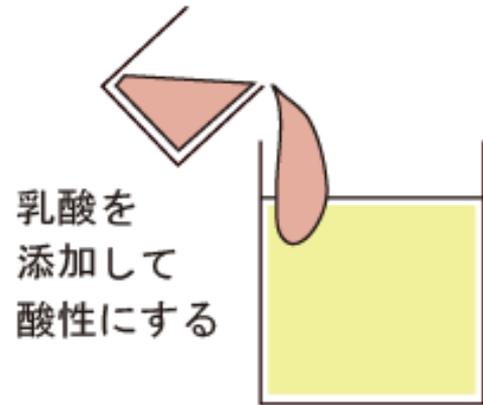
# 山廃酒母造り



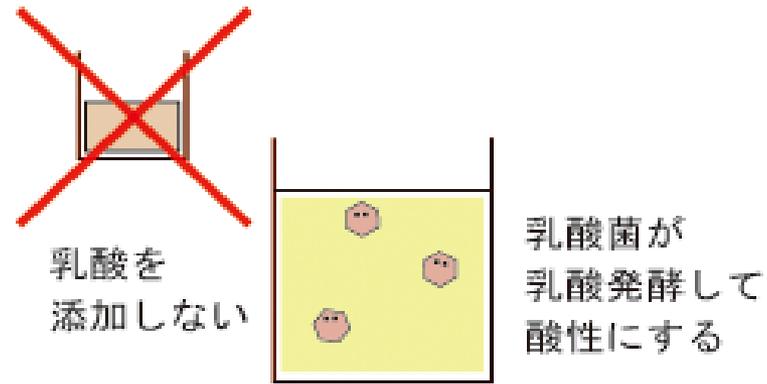
## 山廃酒母における微生物叢の変化

(1972年秋山ら)

# 山廃酒母と速醸酒母の違い



速醸仕込



山廃仕込・生酛仕込  
きもと

# 弊社の主力商品

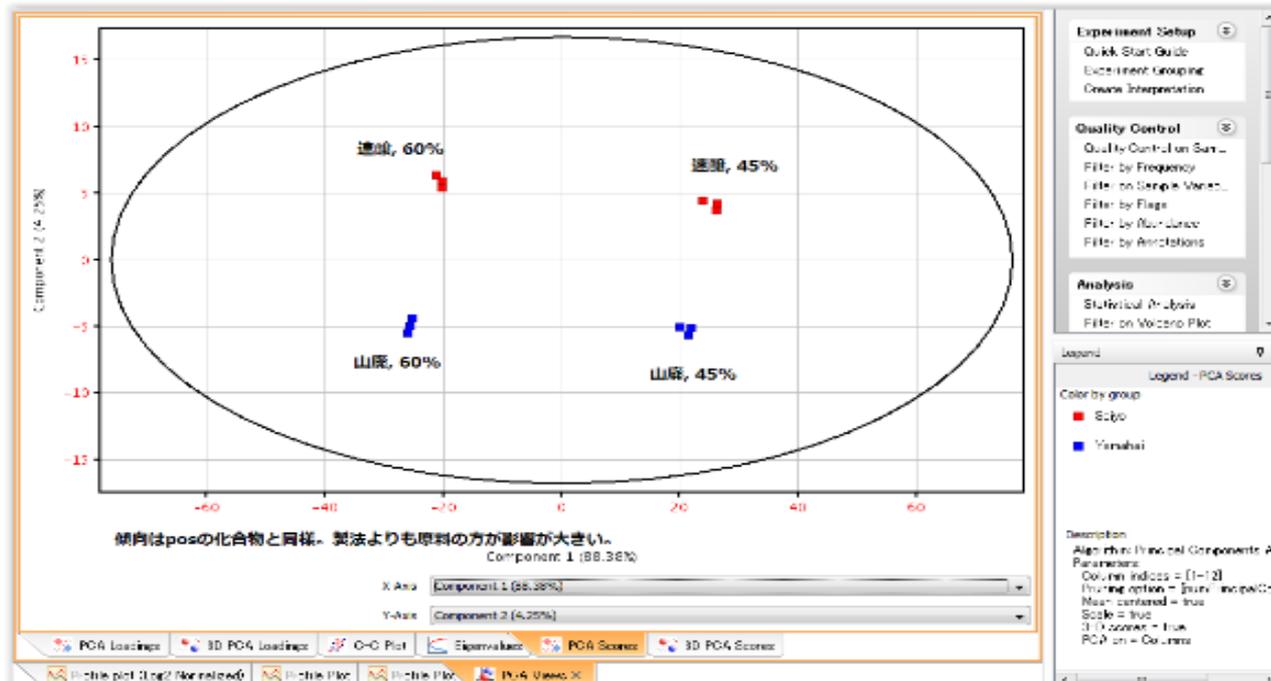
山廃仕込純米酒

山廃純米大吟醸



豊かな旨味としっかりとした酸味、複雑な香味が特徴

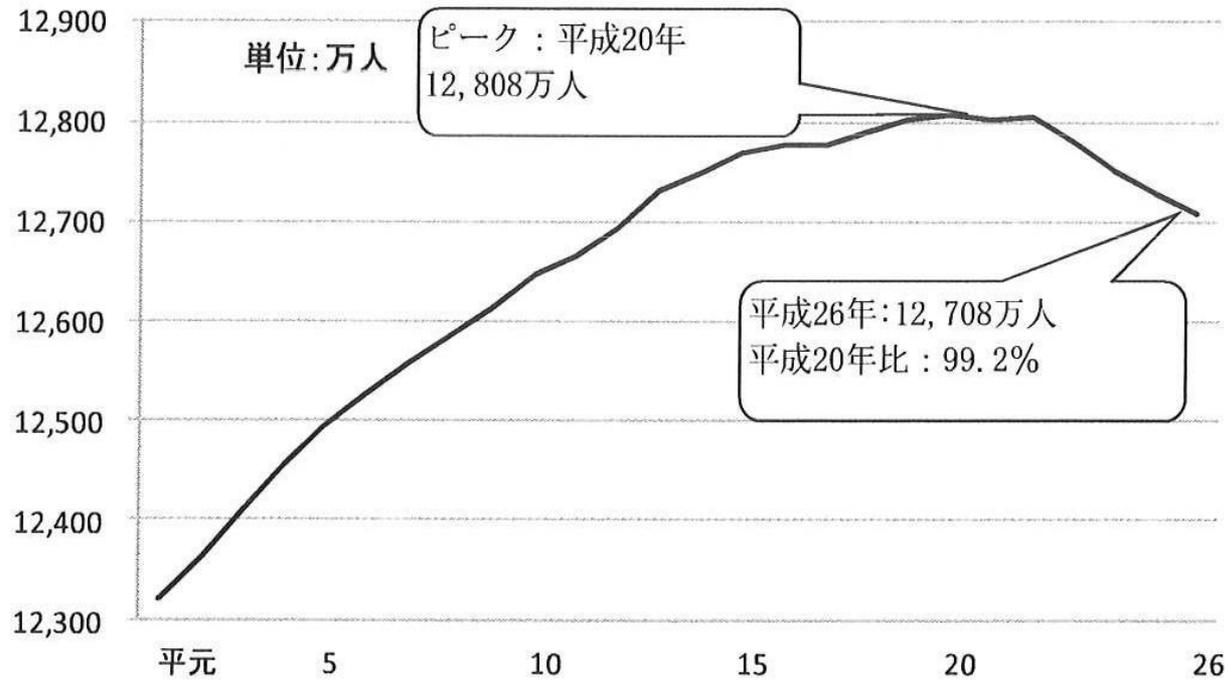
# 山麩仕込みによる味わいの違い



Dアミノ酸, 短鎖ペプチド量の違い

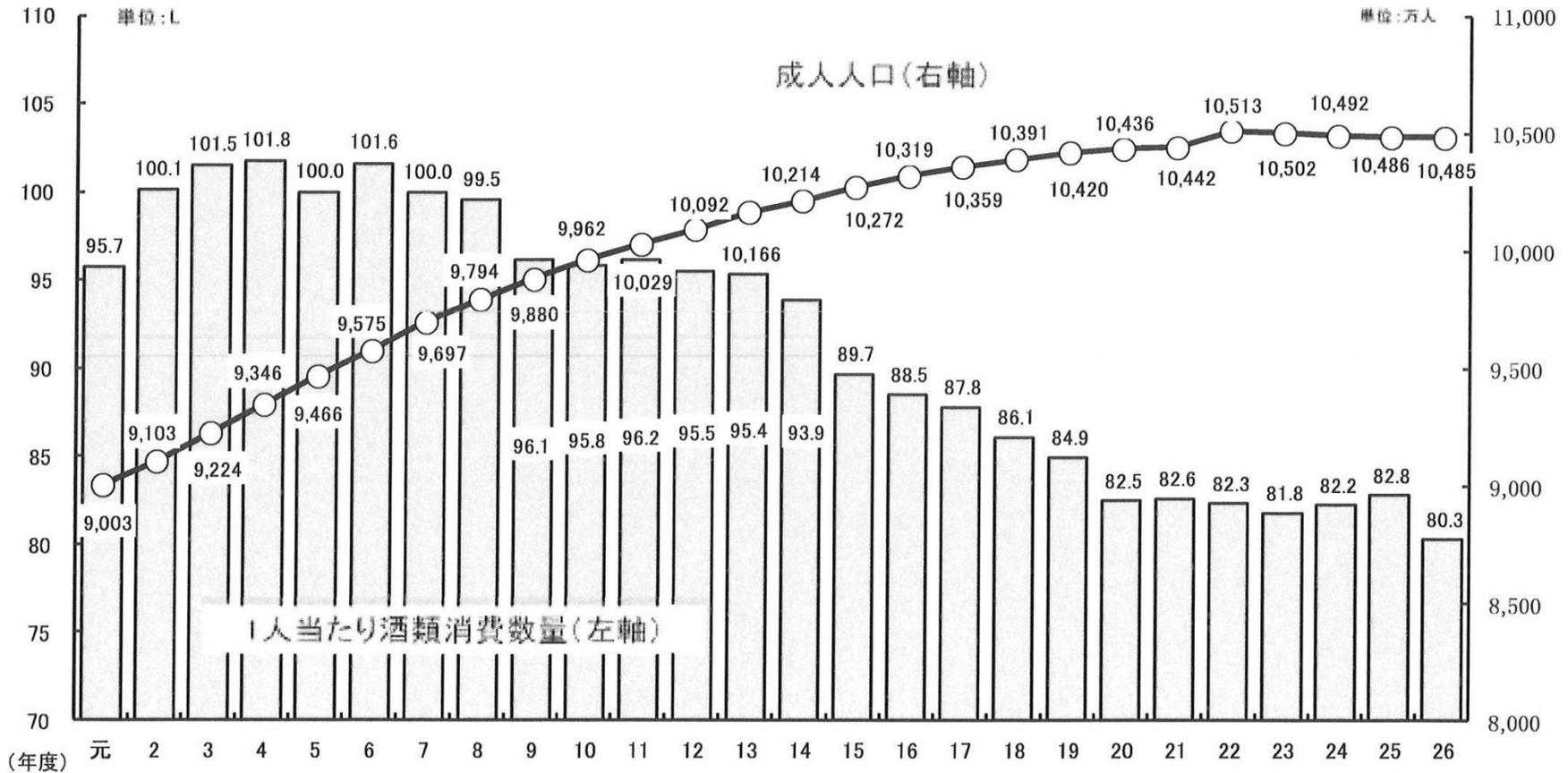
1. 北陸の発酵文化
2. 弊社の酒造り
3. 日本酒の現状
4. 日本酒の海外展開
5. 海外展開を進める上での課題

## 人口の推移



資料：統計局人口推計（長期時系列データ・各年次）

## 成人1人当たり酒類消費数量の推移



資料：成人人口は、「人口推計年報（各年10月1日現在）」（総務省統計局）による。

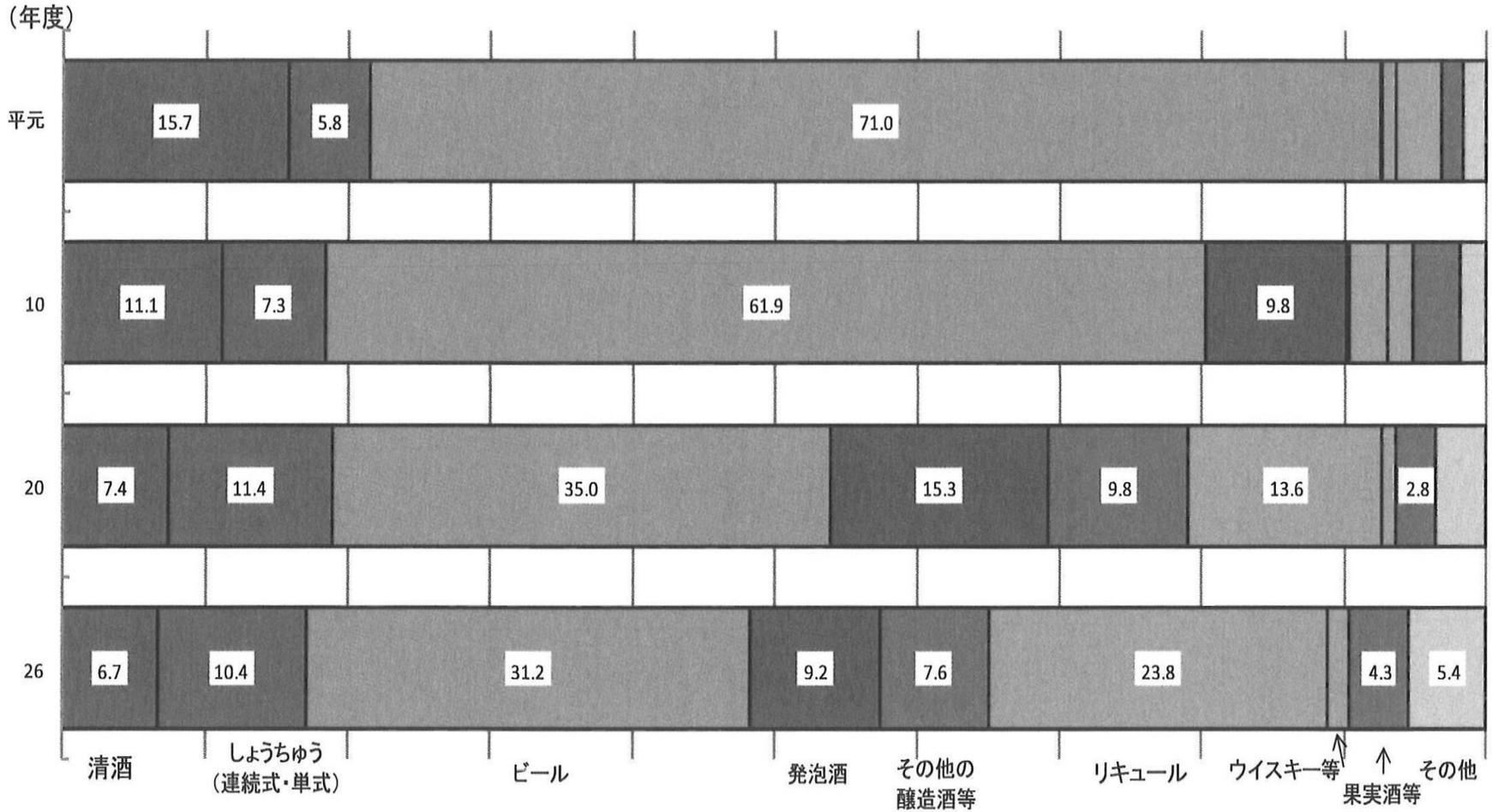
注釈：1人当たり酒類消費数量（左軸）に沖縄分は含まない。

## 酒類別国内消費量10年間の推移

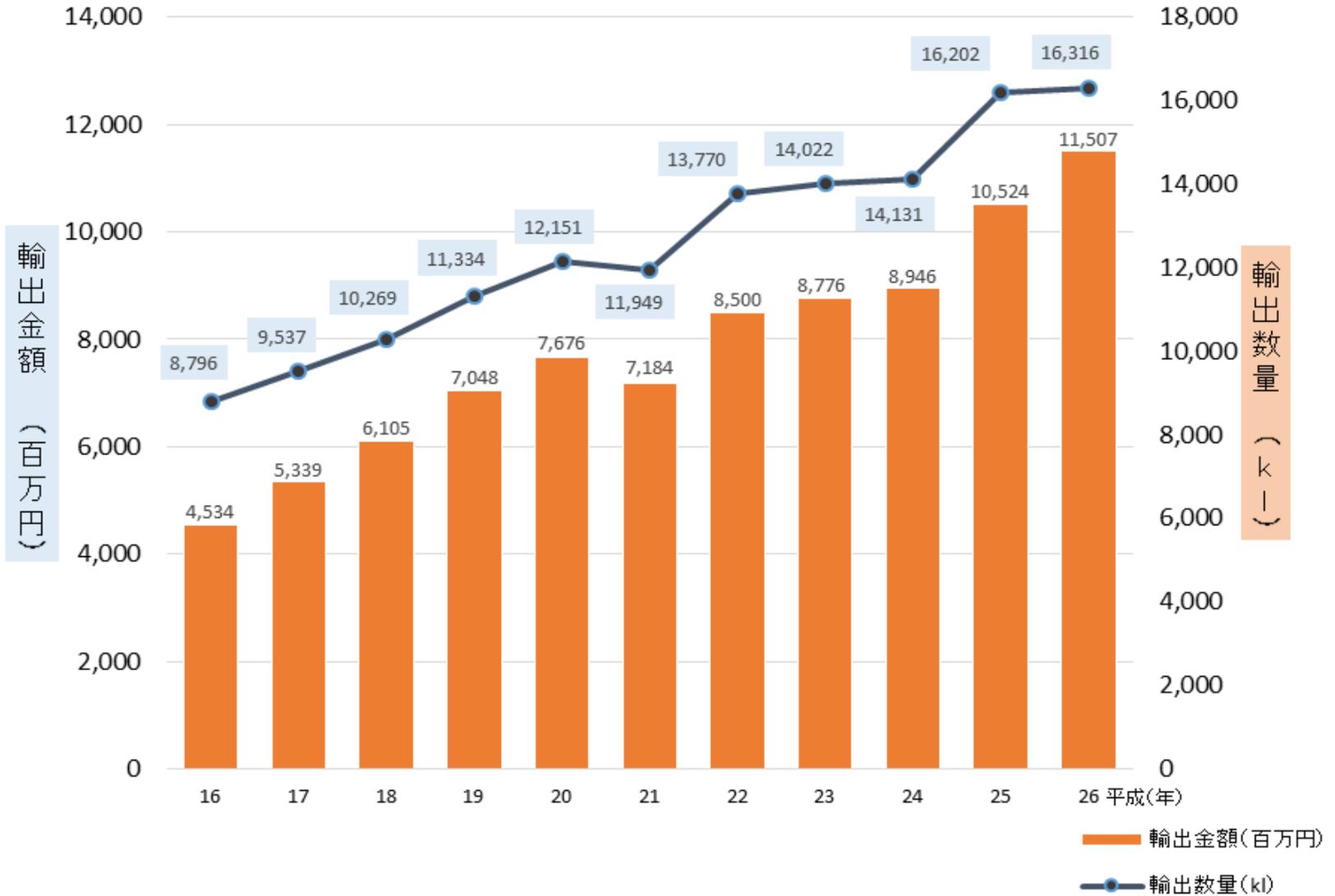
酒類	国内消費量(百万リットル)						平成15→25年度増減率		
	平成15年度		平成20年度		平成25年度		平成15年 →20年度	平成20年 →25年度	
	構成比	構成比	構成比	構成比					
清酒	826	9.0%	631	7.4%	581	6.7%	<b>70%</b>	76%	92%
焼酎	921	10.1%	973	11.4%	911	10.6%	98%	105%	94%
ビール	3783	41.4%	2985	35.0%	2664	31.0%	70%	79%	89%
ウイスキー	97	1.0%	75	0.8%	107	1.2%	110%	77%	142%
発泡酒	2402	26.3%	1307	15.3%	747	8.7%	31%	54%	57%
リキュール	579	6.3%	1160	13.6%	2103	24.5%	363%	200%	181%
スピリッツ等	38	0.4%	145	1.7%	276	3.2%	726%	382%	190%
その他の醸造酒	42	0.4%	838	9.8%	709	8.2%	1688%	1995%	85%
他	432	5.1%	404	5.0%	493	5.9%	114%	93%	122%
酒類全体	9120	100%	8518	100%	8591	100%	<b>94%</b>	93%	101%

出典:国税庁HP「酒税課税関係統計資料」

# 各酒類の販売（消費）数量構成比率の推移



## 清酒の輸出金額の推移



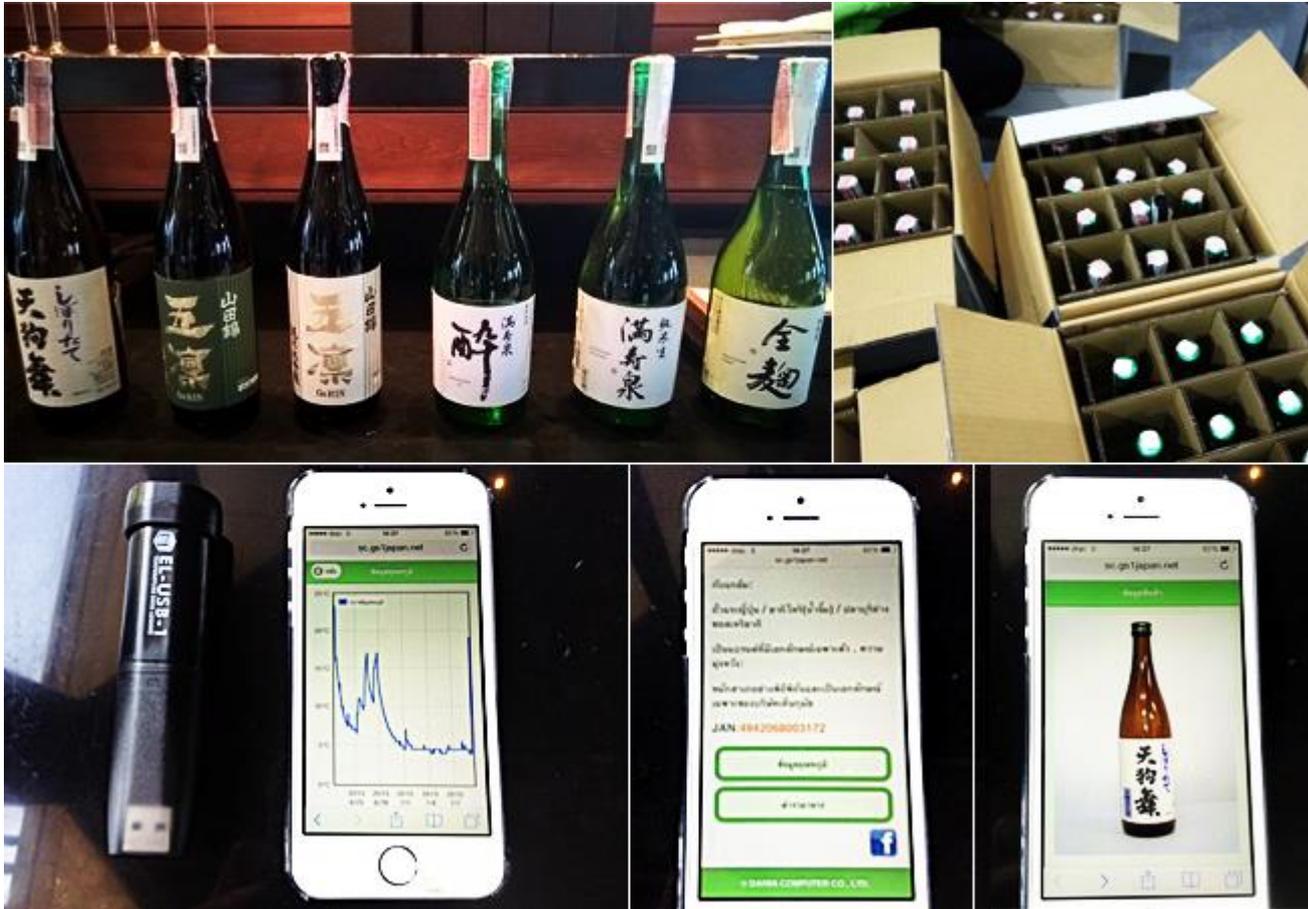
1. 北陸の発酵文化
2. 弊社の酒造り
3. 日本酒の現状
4. 日本酒の海外展開
5. 海外展開を進める上での課題

## 清酒の国（地域）別輸出状況 （金額順・平成27年）

	国（地域）	金額 （百万円）	輸出全 体による 割合 （%）	数量 （KL）	輸出全 体による 割合 （%）
1	アメリカ合衆国	4,997	35.7	4,780	26.3
2	香港	2,282	16.3	1,745	9.6
3	大韓民国	1,364	9.7	3,367	18.5
4	中華人民共和国	1,172	8.4	1,576	8.7
5	台湾	890	6.3	2,112	11.6
6	シンガポール	526	3.8	437	2.4
7	カナダ	345	2.5	553	3.0
8	オーストラリア	310	2.2	358	2.0
9	英国	260	1.9	252	1.4
10	ベトナム	248	1.8	339	1.9
	合計	14,011	100	18,180	100

資料：財務省貿易統計

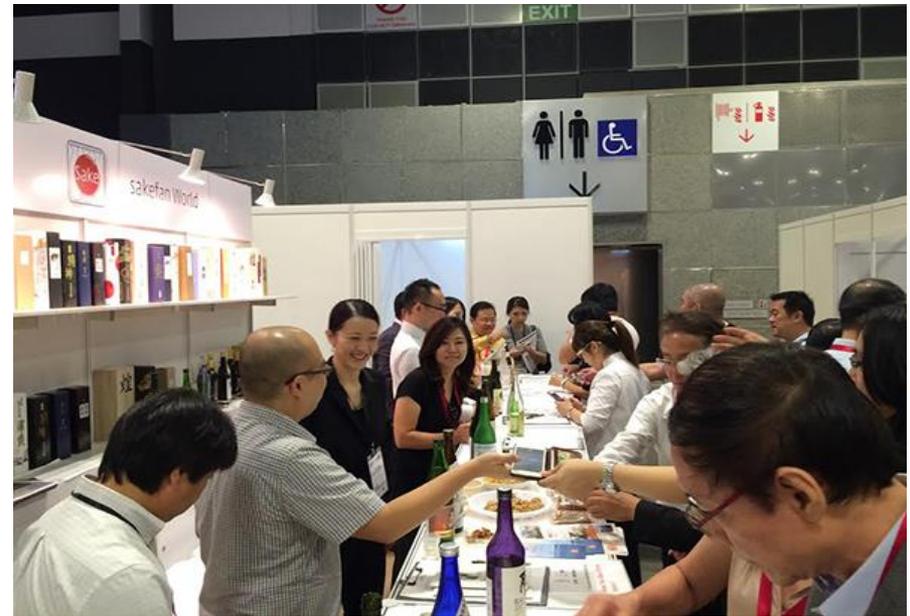
# 日本酒の物流可視化プロジェクト



流通システム開発センター・慶應義塾大学・日本IBM



# Sakefan world の取り組み





# 海外での酒類コンクールに注目

- IWC(International Wine Challenge)  
毎年ロンドンで開催  
2007年から日本酒部門が開設



1. 北陸の発酵文化
2. 弊社の酒造り
3. 日本酒の現状
4. 日本酒の海外展開
5. 海外展開を進める上での課題

# 海外における規制等

- ・原発事故後の原産地証明書や放射能物質の検査証明書の取得(中国・韓国等)
- ・台湾      メタノール・鉛・二酸化硫黄の分析値の提出
- ・カナダ    ECA
- ・フランス   ビスフェノールA (BPA)

## 日本産酒類の各国の輸入規制措置

(平成 28 年 6 月 30 日現在 ・ 国税庁作成)

国・地域	規制措置の状況（必要な証明書等）	備 考
韓 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13 都県産…<u>放射性物質の検査証明書</u></li> <li>・ 13 都県産以外…<u>産地証明書</u></li> <li>・ 震災より前に製造したもの…<u>製造日の証明書</u></li> </ul>	指定都県：宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、新潟、長野、千葉、東京、神奈川、静岡
中 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 都県産…輸入停止</li> <li>・ 10 都県産以外…<u>産地証明書</u></li> </ul>	指定都県：宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、新潟、長野、千葉、東京
ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島県産…<u>放射性物質の検査証明書</u></li> </ul>	
モロッコ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13 都県産…<u>放射性物質の検査証明書</u></li> <li>・ 13 都県産以外…<u>産地証明書</u></li> <li>・ 震災より前に製造したもの…<u>製造日の証明書</u></li> </ul>	指定都県：福島、群馬、茨城、栃木、宮城、山形、新潟、長野、山梨、埼玉、東京、千葉、神奈川
エジプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全都道府県…<u>産地証明書</u></li> </ul>	
ブルネイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島県産…<u>品目証明書</u></li> <li>・ 福島県産以外…<u>産地証明書</u></li> </ul>	
ドバイ アブダビ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 15 都県産…<u>放射性物質検査結果報告書</u></li> <li>・ 15 都県産以外…<u>産地証明書</u></li> <li>・ 震災より前に製造したもの…<u>製造日の証明書</u></li> </ul>	指定都県：福島、群馬、茨城、栃木、宮城、神奈川、青森、新潟、長野、静岡、岩手、山梨、埼玉、東京、千葉
ロシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 都県産…<u>放射性物質の検査結果報告書</u> <u>もしくは震災より前の製造日の証明書</u></li> </ul>	指定都県：福島、茨城、栃木、群馬、千葉、東京

# 日本酒に何が求められる？

兵庫県の山田錦で造った純米大吟醸酒より、  
地元の米を用いた純米酒の方が説得力がある。



原料から醸造法まで一貫した物語が必要。



ワインに見る地域性を重視した酒造り。  
テロワールの考え方が日本酒にも必要。

- ・自然農法による原料や添加物にこだわる客層がある
- ・ワイン醸造での亜硫酸不使用の流れ



低農薬・無農薬栽培米の使用

せっかく苦勞して育種してもらった新品  
種米がなかなか酒蔵に広がっていない



酒蔵の意識改革も必要  
山田錦偏重主義の見直し



各県での酒米の育種に期待

ご清聴ありがとうございました